



会員事業者へ聞く

会議所活用事例



株式会社サンショウ技建

代表者：井本正泰
所在地：山口市吉敷下東
1丁目3-24
TEL：083-929-3200
事業内容：管工事業



活用した制度 小規模事業者持続化補助金等

■「三矢の訓」なぞらえ「三管（3事業）の訓」の強み

弊社は、平成21年に山口市吉敷にて創業し、ダクト換気設備工事、衛生水道設備工事、空調エアコン設備工事の3つの事業を、主に山口県内で受注・施工しています。この3事業を1社で完結してできるのは、おそらく県内で弊社だけで、全国的にも珍しく、弊社の強みだと思えます。元請業者様からすると、3事業を一括で依頼できるため、各工事間の連携が容易かつ安心であり、コストも3社別々に発注するより抑えられる利点から、高い信頼を得ています。現況では、大手FC（外食・スーパー等）の保守営繕工事や、山口市新本庁舎の工事を受注しています。

また、雇用環境の充実にも力を入れ、一般的な働き方改革はもちろん、ES（従業員満足度）向上のため日々改善に努めており、創業当初から従業員も徐々に増え、今では従業員が事務員含めて25名、技能実習生が5名となりました。今年末には、さらに2名の技能実習生を迎える予定です。



鉄板を切断するシャーリングマシン

■小規模事業者持続化補助金等を活用

新型コロナウイルス感染症の間接的な影響により、令和2年から钣金加工製品の調達コストが大幅に上昇しました。それまですべて外注に頼っていたダクトを内製化するため、令和4年に山口商工会議所を通して「小規模事業者持続化補助金」を活用。内製化に伴い、製作し

たダクト製品を保管するための棚や倉庫シャッター等の取得に補助金を利用しました。内製化により、価格だけでなく、それまでダクトの出荷が（受注から）2～3日かかっていましたが、半日で納品できるように納期の短縮にも繋がりました。

この時期、並行して山口市大内御堀に、ダクトを製作する工場を取得しました。工場整備についても、各種補助金を活用しました。



内製化した製品（一部）

■今後の目標～「人」と「社会」へ貢献

当面の目標は、内製工場の取得と山口市新本庁舎工事の受注でした。現在、公共工事と民間工事では若干民間工事の施工高が多いので、今後は公共工事も増やしていければと思います。前述したように、技術者の育成にも引き続き力を入れ、社内資格取得制度の充実にも積極的に取り組み、現在の高い技術を継続して提供できる体制を確立させることがこれからの目標です。

最近、再び新型コロナウイルス感染症が流行っていると聞きます。万が一に備え、弊社の事業活動で室内空間をより良い環境に変えられるように技術を磨き、皆様のお役に立てることで、ささやかですが社会への貢献となれば幸いです。